

SL エスエル 医療グループ ニュース

No.167 2024.8

発行所 名古屋市中区新栄町1-3 エスエル医療グループ 編集部(鈴木・大野・吉田・玉井・森川・金子) 発行日 2024年8月1日



「水辺」 颯田圭子氏

今月のことば

世界各国の男女間の平等に関する調査で、日本は146か国中118位と、順位は上げたものの、依然後進国であるとの報道があった。男や女だからという枕詞のない、いわゆるジェンダー平等の評価である。教育や医療へのアクセスなどは高い評価がある一方、政治や会社などの重要地位の女性占有率が低いのがその理由という。最近『光る君へ』や『虎に翼』等、女性のサクセスストーリードラマが人気である。日本初の女性小説家とか、初の女性弁護士がテーマであるが、こんな『女性初』という枕詞が要らない社会形成が必要なのであろう。今後の人口減少が危機的な日本は、女性の力がなくて発展しないと思われるが如何であろうか？ (H.K.)

〈目次〉

今月のことば	1
テレビ放送	2～3
……………古井脳神経外科 院長 古井倫士	
ご挨拶	4
……………はっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部陽介	
ワクチン・予防接種を受けましょう。(2)	5
……………セントラル小児科 院長 森 孝生	
奈良宣言2023 肝機能のALTが30を超えていたら	6
……………やまうち消化器内科クリニック 院長 山内 学	
2024年夏期休診一覧	7
栄(SL医療グループ) 近辺—45	8
静岡東病院赴任回顧録	
……………森川クリニック 院長 森川建基	

テレビ放送

古井脳神経外科 院長 古井倫士



いつの頃からか判然としないが、テレビを見ていて番組の合間に流されるコマーシャルの多さには辟易とする。民放連には60分番組なら6分までの内々の決まりがあるらしいが視聴者の感覚としては一割以上の時間が割かれているような気がする。いったいどれほどなのか数えてみるとその都度9本余のコマーシャルが流されることもある。数もさることながらそのタイミングもサスペンス番組ならばいよいよ真相に迫る場面、クイズ番組ならばさて解答はといったタイミングで挿入される。そんな作為を頻繁に見せられるとスポンサーたる企業への感謝の念が希薄を通り越して憎悪に傾いてしまう。

筆者には小学生のころ行事として学校の体育館で放送関係の人の講演を聴かされた憶えがある。どんな内容だったかあらかた忘却の彼方なのだが、コマーシャルの許される時間は30分番組当たり3分に決められているのだと聴いたような気がする。これが正しい記憶なら今と変わらないことになる。1時間以上の番組が増えて30分番組をひとつの企業が提供する機会が減り、経済の発展に伴って複数の企業や団体が寄り合ってスポンサーになるのが一般化したために細切れの連続になって時間が延びた印象を与えるだけなのだろうか。

わが国でテレビ放送が開始されたのは昭和28年(1953年)のことである。テレビの開発は戦争がなければ1940年に開催されるはずであった東京オリンピックの実況放送に供すべく戦前から始まっていて、高柳健次郎氏らが1927年に“イ”の字の映像伝送に成功した場面を読者もどこかで眼にしたかと思うが、敗戦によって開発は中断され、戦後8年目にしてNHKのテレビ放送が始まるのである。民放は半年遅れで日本テレビが放送を開始し、1956年には名古屋の中部日本放送(CBC)が後を追う。

当初の放送は昼と夜のみで、午前と午後の大半はテストパターンとしてNHKのロゴが流れているのみであった。筆者は1948年生まれであるからこ

のとき5歳であったが昼のニュースのあとに動かないテストパターンの画面になってしまうのがっかりした憶えがある。

次第に放送時間が延長され、「ジェスチャー」「おトラさん」「私の秘密」「お笑い三人組」「スーパーマン」「名犬リンチンチン」などが登場すると待ちわびて観た。兄弟のいない筆者を不憫に思ったのか祖父母や母から見過ぎだと注意された憶えはない。ひょっとして筆者のために高価な出費をしたのかもしれない。1953~1954年ごろのはなしである。画面は14インチと小さく、放送局から発信される電波をブラウン管で映像化する走査線の本数はこんにち普及している液晶やプラズマを用いたテレビの半分ていどでそこに映し出される白黒の画像はいま憶えばそれほど鮮明ではなかったはず。それでも、好みの番組を心待ちにしたものである。

三つ子の魂ではないが、幼くしてテレビに親しんだ筆者はこんにちまで自宅が無為な時を過ごすときは必ずテレビを点けている。通勤電車でほとんどの若者がスマホを覗き込んでいるのを何たる時代だと批判したくなるときがあるが、なにをかいわんやである。筆者とて同類の所業を重ねる日々なのである。

なぜ筆者はテレビに執着するままこんにちに至ったのであろうか。仕事中は当然として、友人と談笑したり、旅先で悠久な景色を見たり、絵画や音楽の鑑賞や読書などに身を置くときはテレビとは無縁に時を過ごす。ただ無為に過ごさざるを得ないときに限った行為なのだろう。無為ならただボーとしていればよいではないか。ところが、長い時間を何の刺激も受けず、何も考えずに過ごすことはとても難しい。

ヒトは睡眠期間を別にすれば常に何らかの神経活動を絶え間なく継続している。前述したように人や事物との関わりをもちながら神経は常に活動状態にある。それらとの接点が乏しければ精神活動としてあれこれと思考に耽る。

見たり、聞いたり、感じたり、思い浮かべたり、

思考すること、それらの連続を心理学は意識の実体だとする。国語辞典によれば意識とは広く知、情意を含めた精神の働き、あるいははっきり自覚することと定義する。睡眠中にも夢をみることがあるが、ごく短時間の現象で、おおかたの時間は意識なく経過している。それに対して覚醒中は常に知覚および運動、あるいは精神の活動を途切れることなく持続しており、抽象的な言い方をすればヒトは常に意識下におかれているのである。したいこともないし煩雑な思考も遠慮したいからといってロボットのごとく電源を切って時を稼ぐわけにはいかない。

視覚、聴覚、知覚、運動の機能を作働させ、それらが希薄になればあれこれと思考に耽って間断なく意識を維持するのはいかなる機序に由来しているのであろうか。結論からいえばまだよく判っていない。脳を中心を貫く脳幹網様体、または大脳の根元に存在する視床下部が大脳皮質やその内部の大脳辺縁系を賦活させることが意識の根源であるという説が広く知られているが、具体的にどのような相互作用なのかは判っていない。しかし、ヒトの脳は休みない活動をするように仕組みられているのである。したがって、脳は疲労する。ロボットなら電源をオフにするところ、ヒトは生理に従って自働で睡眠に落ち、疲弊した脳の活動を再開するための休息をとることになっている。

機序はともかくも、諄いようだがヒトは眠っているとき以外は常に視覚や聴覚などの感覚を得ながら運動をし、あるいはなんらかの思考を継続しながら生きている。それは一刻も断たれることのない脳の活動である。仏教の禅宗には座禅という修行がある。筆者は仏教徒ながら他力本願なのでその目的とするところを承知していないが、もし座禅が無我の境地をめざすものだとすれば、ただ何時間も空なところで坐り続けることが可能なのだろうか。外界と遮断した状態で思考を止め、かといって眠らずに坐り続けるのである。意識を保ち続けながら無意識でいるなど、俗人には到底想像できない。千日に亘って一日も休まず体力の限界をもって深山を駆け巡る厳しい行もあるらしい。余程の覚悟がなければできない所業ではないと思うが、数年に亘って駆け巡り続けるという運動の極限を継続するから、無為な思考に耽る暇なく修行を続けられるのかもしれない。

ともかくも、ヒトの脳は常に五感を働かせ続け、仮に外界の刺激が希薄になれば有為無為を問わずになんらかの思考をするように仕組みられているのである。ひとくちに思考といってもその内容は種々雑多であろうが、何時間も浸り続けるのはこれまた容易なことでない。酒の力を借りて酩酊すると時間を忘れて思考に耽うこともあるが、覚醒中にただ思考にのみ耽るのは相当の苦痛を伴う。

筆者は年老いた今になり、覚醒中の脳はその働きを間断なく維持しているというあたりまえの事実に変更して気づいた。テレビは受け身ではあっても視覚、聴覚、思考を働かせて神経活動を維持させてくれる手助けをしているのだ。スマホやテレビゲームも同類であろう。

テレビのまえはラジオがあった。では、そのまえは何があったのか。親密な人間関係や器械化されていない煩雑な手仕事、早朝からの野良仕事、たまには酒席、今よりは頻繁な仏事。いろいろな刺激を考えてヒトは生き、日がくれれば速やかに休息の睡眠を受け入れていたのだろう。

文明の進歩とともにヒトは好んで受け身の刺激を必要とするようになった。テレビとて頻繁なコマーシャルに興味を削がれつつある今後、苦なく意識を保つためにいかなる手段が出現してくるのだろうか。スマホは既に普及し、Google内に流される仮想空間を遊ぶ方法も登場している。この先はGoogleなど取り除き身のまわりそのものを仮想世界化して生活するような時代が訪れるかもしれない。自らに具わった五感あるいは思考を自らの意思とは無関係に働かせる世界を実現しようとするのがヒトの進化というか、運命なのだろうか。

今日も居間のテレビ、それも止めどなく繰り返されるコマーシャルを眼にしながらかく不意にこんなことを考えた。



ご挨拶

はっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部陽介



この度、令和6年4月8日に「はっとり整形外科リウマチクリニック」を開院いたしました、服部陽介と申します。開院以来、多くの皆様から温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。当クリニックは関節リウマチを中心に、整形外科疾患全般の診療とリハビリテーションを行っています。

以前、私はこの場所にあった「えとうリウマチ整形外科」で非常勤医師として土曜日に勤務していました。その経験や勤務先の名古屋医療センターおよび自宅から近いという立地条件もあり、エスエルグループでの開業を決意しました。日頃から整形外科の患者さんに歩行を推奨しており、開業医として自身の健康管理の一環として徒歩通勤を実践しています。

私は三重県菰野町出身で、三重県立四日市高等学校、奈良県立医科大学を卒業後、名古屋大学関連病院で研修を受け、整形外科医として医局の関連病院や大学病院で勤務し、豊富な経験を積んできました。整形外科の領域のなかで、特に関節リウマチの専門医として、分子標的治療薬である生物学的製剤やJAK阻害剤の臨床治験に携わり、多くの難治性の関節リウマチ患者さんに対して治療を提供し、サポートしてきました。また、学術活動にも積極的に取り組み、新しい治療法の研究や学会発表、論文執筆を行ってきました。

関節リウマチは早期診断と早期治療が重要です。新しい治療薬の登場により、関節破壊が進み生活の質が低下することが減少しましたが、適切な治療を受けられずに苦しむ患者さんも多く存在します。関節リウマチは薬で症状が改善しても、長期間にわたって治療を続ける必要があります。若い患者さんは仕事や家庭とのバランス、

高齢の患者さんは日常生活動作の維持や健康への配慮が必要です。また、治療の継続性や利便性も重視され、簡便で続けやすい治療が求められています。また、首や腰、関節、筋肉の慢性的な痛み、腫れ、運動制限が続く場合、全身的な症状を引き起こすリウマチ類似疾患を見逃さないことも大切で、脊椎関節症は早期診断と、適切な治療計画により症状の軽減や生活の質の向上が期待できますが、症状が軽度で他の病気と似ているため、診断が遅れることが多くあります。

私はこれらの背景を踏まえ、患者さんが適切な診断と治療を安心して受けられるかかりつけのリウマチ専門医の役割の重要性を強く感じています。薬物治療の進歩により手術が減少する一方で、病状が安定した患者さんを長期的かつ専門的な治療管理ができる施設が少ない現状を改善するため、リウマチクリニックを開業しました。当クリニックでは、関節リウマチの診断や治療がうまくいかない患者さんのために受診のハードルを低くし、患者さんの不安や疑問、治療相談にお応えします。また、診察日や診療時間が限られる大病院とは異なり、手足や首、腰の痛みについて気軽に相談できる環境を提供します。整形外科治療、内科治療、リハビリテーション、リウマチ認定看護師による療養相談など、総合的なアプローチで患者さんをサポートします。

慢性炎症性疾患をフォローするうえで、長年にわたり地域で信頼されているエスエル医療グループの幅広い診療科の専門医の先生方と連携できることが一番の魅力であり、患者さんが安心して治療を受けられるクリニックを目指しています。どうぞよろしく願い申し上げます。

ワクチン・予防接種を受けましょう。(2)

セントラル小児科 院長 森 孝 生

2. 1歳からの接種ワクチン

- ① MR (麻しん・風しん) (生) 1歳と小学入学前の2回接種。はしかと風疹の予防。
- ② 水痘 (みずぼうそう) (生) 1歳～2歳11月までに2回接種。水痘の予防。
- ③ ムンプス (おたふくかぜ) (生) 1歳から就学前までで1回だけ名古屋市では接種料金の補助があります。ムンプスの予防。
※海外では①と③が一つになった⑭ MMR (生) の2回接種が標準となっています。
- ⑤ 日本脳炎 (不) 生後6月から接種可能ですが、1期が3歳から2回+追加接種、2期が9歳～12歳11月までに1回の接種が標準です。確実な治療法がないために死亡率が高く、脳の機能低下の後遺症が残る率も高い日本脳炎の予防。
- ⑥ 2種混合 (DT) (不) 11歳～12歳11月で1回接種。ジフテリア、破傷風の追加接種。

3. 中学からの接種ワクチン

- ⑦ 子宮頸がん (HPV) (不) 小学6年 (標準は中学1年) から高校1年までの女性で3回接種、新しい9価のワクチンは15歳までに開始すると2回接種。毎年3千人の女性の方が亡くなっている子宮頸がんの予防。
- ⑧ HPV ワクチン (4価) (不) は男性にも適応があります。中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの予防が期待されます。女性の子宮頸がん予防にもなります。

4. 妊娠可能年齢の女性とそのパートナー

- ① MR (麻しん・風しん) 妊娠中に風疹に罹ると高率で先天性の異常 (先天性風疹症候群) を持った赤ちゃんが生まれてくるため、風疹抗体の少ない妊娠可能な女性とそのパートナーに、名古屋市では公費 (無料) で接種しています。

5. 大人になってからのワクチン

- ⑨ 破傷風トキソイド (不) 20歳以上で、仕事等で土壤汚染を伴う傷を受ける可能性が高い方は、⑧ 4種混合と⑬ DT の追加として10年毎に1回の追加接種を続けます。

6. 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

風疹の抗体価チェックと、風疹の抗体価が不十分な場合には① MR (麻しん・風しん) 接種が、2024年度 (2025年3月31日) まで無料で受けられます。

7. 50歳～接種が勧められるワクチン

⑩ 帯状疱疹予防接種 年齢が高くなると、帯状疱疹の皮膚症状が治った後も眠れないぐらいの痛みが続く「帯状疱疹後神経痛」の合併症を起こしやすくなります。そのためにも是非予防してください。次のどちらかで、費用の補助があります。

- ⑫ シングリックス (不) 50歳以上で2回接種
- ⑬ 水痘ワクチン (生) 50歳以上で1回接種
⑫⑬の2種類のうちいずれかで帯状疱疹の予防。

8. 65歳 (特別な身体条件にある方は60歳から) ～接種が勧められるワクチン

- ⑭ (高齢者) インフルエンザ (不) 毎年1回接種
- ⑮ (高齢者) 肺炎球菌 (ニューモバックス) (23価肺炎球菌莖膜ポリサッカライドワクチン) (不) 1回接種。感染・誤嚥等による肺炎の予防。
- ⑯ 沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン 1回接種。感染・誤嚥等による肺炎の予防。

9. 全年齢で接種が勧められるワクチン

- ⑰ インフルエンザ (不) 0歳から接種可能ですが1歳以上からが一般的です。12歳までは毎年2回接種。13歳からは毎年1回接種。
- ⑱ 新型コロナウイルスワクチン (m) 今年の秋から定期または任意接種になる可能性があります。詳細は未確定です。
- ⑲ A型肝炎 (不) 初回2回+追加1回接種。経口感染によるA型肝炎の予防。
- ⑳ B型肝炎 必要に応じて追加接種を行うことが望ましい。

- ㉑ ムンプス (おたふくかぜ) 1歳以上
- ㉒ 23価肺炎球菌莖膜ポリサッカライドワクチン 2歳以上の秘蔵摘出者 (健康保険適用) 他希望者。再接種可。

- ㉓ 沈降13価肺炎球菌結合型ワクチン 高齢者以外でも肺炎球菌感染のリスクが高い方。
- ㉔ 髄膜炎菌 (不) 2歳以上56歳未満で希望者。1回接種

10. 海外渡航者への予防接種・予防内服薬

渡航先によって、㉕ A型肝炎、㉖ B型肝炎、㉗ 破傷風トキソイド、㉘ 日本脳炎の追加接種、㉙ 髄膜炎菌、㉚ 狂犬病 (不)、㉛ 黄熱 (不) などの追加接種や、ワクチンではないが㉜ マラリアの予防内服も必要になる場合もあります。

いずれのワクチン等も主治医の先生とよく御相談されて接種を決めてください。

奈良宣言 2023 肝機能の ALT が 30 を超えていたら

やまうち消化器内科クリニック 院長 山内 学



健康診断などの血液検査で肝機能を示す ALT 値がもしも 30 を超えていたら、慢性肝臓病 (CLD) が隠れているかもしれません。まずはかかりつけ医などを受診し相談してください。

これは、2023 年、第 59 回日本肝臓学会総会で採択された奈良宣言です。

慢性肝臓病 (Chronic liver disease: CLD) は、慢性肝臓病の英語の Chronic (慢性) + Liver (肝臓) + Disease (病気) の頭文字をとって CLD (シーエルディ) と呼称しています。

肝細胞が傷つくと細胞内の AST, ALT が漏れ出して、血管内に移行して数値が上昇します。特に ALT は他の臓器にあまり含まれていないため、その血液中の高さは肝障害を反映します。

肝炎ウイルスや脂肪肝、アルコール、免疫異常等の何らかを原因として肝臓が長期にわたり持続的な障害を受けると、炎症を修復する機序によって線維化 (硬くなること) が生じ、進行すれば肝硬変といった肝臓の機能不全状態や肝がんの成因となり得ます。

よって血液検査の ALT 値が 30 を超えていた場合、まずかかりつけ医などを受診して慢性肝臓病 (CLD) が隠れていないか検査を受けることを勧めています。

かかりつけ医などで採血や腹部超音波検査などを受け、必要と判断されれば、さらに消化器内科でより詳しい検査を受けることで、肝疾患の早期発見・早期治療につながります。

HBs 抗原や HCV 抗体など肝炎ウイルス検査

が陽性なら、ウイルス肝炎が疑われます。肥満・糖尿病・脂質異常症・高血圧を合併し、脂肪肝を認める場合、血小板数が 20 万未満で FIB-4 index が 1.3 以上であるならば、肝線維化を伴う脂肪肝が疑われます。飲酒量が男性で 60 g / 日以上・女性で 40 g / 日以上かつ AST や γ GTP が異常値ならば、アルコール性肝障害が疑われます。その他の原因として、薬剤性肝障害や自己免疫性肝疾患なども疑われます。

これらの場合には、肝臓専門医や消化器内科などの専門診療科で肝臓に関する詳しい検査を受けて、肝臓病を悪化させないために、できるだけ早く適切な定期検査や治療を受けましょう。

近年、肝臓病でも頻度が高かったウイルス性肝疾患 (特に B 型肝炎や C 型肝炎) の治療方法は進歩し、高い可能性で肝臓病から命を守ることができるようになりました。しかし、肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、肝臓病は病状が出ないまま進行します。肝硬変や肝臓がんになると初めて、疲れやすい、顔色が悪い、お腹が張るなどといった症状が出るのが少なくありません。最近、特に生活習慣に関連した脂肪肝など (代謝異常関連脂肪性肝疾患など (MASLD, MASH)、アルコール性肝疾患 (ALD)) が進行して肝硬変や肝臓がんに至ることも増えているので、注意が必要です。

やまうち消化器内科クリニックでは、日本肝臓学会専門医として日々肝臓病の診療を行っています。血液検査で肝機能の ALT 値が 30 を超えていた方は、お気軽に受診してください。

エスエル医療グループ 2024年夏期休診一覧

印のない場合は通常通りとなります。通常休診、午後休診などにご注意下さい。

×印…休診日

階	2024年8月	10 (土)	11 (日)	12 (祝)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	備考・その他の休診
9	たまい眼科ほのぼのクリニック	×	×	×	×	×	×	×	
	関谷耳鼻咽喉科		×	×	×	×	×		8/9、8/16 夕診休み 8/8～8/17 院長不在
8	森川クリニック		×	×	×	×	×		
	はっとり整形外科リウマチクリニック		×	×	×	×	×		
	どい眼科クリニック		×	×	×	×	×		
	おおいわ消化器クリニック		×	×	×	×	×		
7	セントラル皮膚科		×	×	×	×	×		
	すずき呼吸器クリニック		×	×	×	×	×		
	金子内科		×	×	×	×	×		
	つじ泌尿器科クリニック		×	×	×	×	×	×	
	服部内科クリニック		×	×	×	×	×		
	こんどう女性クリニック	×	×	×	×	×	×		
6	仲尾歯科		×	×	×	×	×		
	古井脳神経外科		×	×	×	×	×	×	
	亀井内科・呼吸器科		×	×	×	×	×		
	さかもと内科腎クリニック	×	×	×	×	×	×		
	やまうち消化器内科クリニック		×	×	×	×	×		
5	古澤整形外科		×	×	×	×	×		
	中川内科		×	×	×	×	×		
	栄かとうクリニック	×	×	×	×	×	×		
	恒川内科		×	×	×	×	×	×	
	おおの内科		×	×	×	×	×		
	山川内科		×	×	×	×	×	×	
	岡神経科		×	×	×	×	×		
4	はまだ代謝内科		×	×	×	×	×		
	栄内科		×	×	×	×	×	×	
	SL外科・乳腺クリニック		×	×	×	×	×		
3	すぎやまレディスクリニック		×	×	×	×	×		
	吉田内科		×	×	×	×	×		
	セントラル小児科		×	×	×	×	×		
	岩瀬内科・消化器内科		×	×	×	×	×	×	
	渡辺クリニック		×	×	×	×	×		
	磯部内科クリニック	×	×	×	×	×	×		
	第一歯科医院	×	×	×	×	×	×		

栄（SL医療グループ）近辺 - 45 静岡東病院赴任回顧録

1：東病院（後に「静岡てんかん・神経医療センター」に改名＝日本で最初の「てんかんセンター」）就職の経緯：昭和50年から51年にかけて、初代院長の和田豊治先生から、弘前高校の1年後輩の名大小児科教授の鈴木先生に「誰か若いのを一人でも良いから送れ」との依頼がありました。教授から「てんかんセンターからお前にお呼びがかかっている、先ず1回見学に行こう」との事。

静岡駅からタクシーで病院玄関に近づくと、水害にあった直後のポロポロの建物で、思わず逃げ腰になった私を、「お前2年だけでも良いから我慢なさい」と言われ、昭和51年（1976年）の4月に赴任しました。赴任直後から、発作を観察するのが面白くて、アット言う間に50歳過ぎまで勤務は続きました。

2：赴任第1日目に妻の運転でセンター入り口に差し掛かったとき、「ヤクザみたいにギョロ目で怖そうな人が歩いてくる」と私に妻が怖そうに言う

たのですが、「あれは世界的にも有名な副院長の清野先生で、以後失礼の無いように」と申し渡しました。さて和田院長です。赴任初日に院長室に挨拶に向いたら、私の顔を見た途端顔色が突然青くなり「君一寸失礼するよ」と院長室を出て行かれました。後で分かったのですが、先生は飲酒過多で体を壊され、その後数ヶ月間は休養されました。この時清野先生や大沢先生が院長の寮に行ったところ多量のダルマ（ウイスキー）の瓶が並んでおり、よくもここまでウイスキーを多量に飲まれたものだといっていました。初代院長の精神的重荷のはげ口がお酒だったのです。

3：さて話し変わって、医局では毎晩7時から11時頃まで、酒を酌み交わしながらの「てんかんディスカッション」が、とても勉強になりました。主役は清野副院長で、著名な国内外のてんかん学者についての裏話や、てんかん研究の歴史的な発展の詳細を、それこそ「目からウロコが落ちるような」新鮮さで聞き入ったものです。SL医療グループで、現在専門診療が出来るのも、上記のような過去のセンターでの知識・経験のおかげだと感謝しています。

森川クリニック 森川建基

SL エスエル医療グループ 栄・中日ビル北斜向い 中区新栄町1-3 ☎951-3833

<http://www.sl-medical.gr.jp>

すぎやまレディスクリニック 院長 杉山 正子 ☎971-0930	はまだ代謝内科 院長 濱田 洋司 ☎957-3701	古井脳神経外科 院長 古井 倫士 ☎951-2223	服部内科クリニック 院長 服部 正樹 ☎962-8500
吉田内科 院長 吉田 修 ☎951-0321	古澤整形外科 院長 古澤 久俊 ☎954-0335	亀井内科・呼吸器科 院長 亀井 三博 ☎951-2577	森川クリニック 院長 森川 建基 ☎961-1709
セントラル小児科 院長 森 孝生 ☎971-6237	中川内科 院長 中川 順市 ☎951-7532	さかもと内科腎クリニック 院長 坂本 いずみ ☎961-2061	はっとり整形外科リウマチクリニック 院長 服部 陽介 ☎228-1901
岩瀬内科・消化器内科 院長 岩瀬 弘明 ☎951-1255	栄かとうクリニック 院長 加藤 泰久 ☎961-3001	やまうち消化器内科クリニック 院長 山内 学 ☎957-2488	どい眼科クリニック 院長 土井 浩史 ☎211-9577
渡辺クリニック 院長 渡辺 正樹 ☎955-5060	恒川内科 院長 恒川 誠 ☎951-1265	セントラル皮膚科 院長 坪根 幹夫 ☎973-0495	おおいわ消化器クリニック 院長 大岩 哲哉 ☎959-5560
磯部内科クリニック 院長 磯部 智 ☎971-0515	おおの内科 院長 大野 秀樹 ☎971-0950	すずき呼吸器クリニック 院長 鈴木 清 ☎265-7250	たまい眼科ほのほのクリニック 院長 玉井 浩子 ☎955-8090
第一歯科医院 院長 高木 昭英 ☎951-1355	山川内科 院長 清水 周哉 ☎951-1211	金子内科 院長 金子 晴生 ☎971-5801	関谷耳鼻咽喉科 院長 関谷 健一 ☎951-7799
SL外科・乳腺クリニック 院長 伊藤 由加志 ☎971-6269	岡神経科 院長 岡 潔 ☎955-1606	つじ泌尿器科クリニック 院長 辻 克和 ☎951-2212	サカエきこえの相談室 ☎961-4133
栄内科 院長 山田 琢之 ☎955-8020	仲尾歯科 栄診療所 院長 仲尾 泰彦 ☎963-4182	こんどう女性クリニック 院長 近藤 育代 ☎951-0500	